

長崎倶楽部

No.52

2017.1.26

長崎県人クラブ事務局 〒160-0004 新宿区四谷1-10-2-412 tel:03(5366)4888 http://www.k2.dion.ne.jp/~nkenjin/ 発行人/山内 賢明

目次

● 巻頭インタビュー 43 / 吉田茂視	1
● 講演会 / 廣澤貴子	5
● ひと / 今福雅彦	10
● 会社訪問 / 玉木公認会計士事務所	11
● TOPICS	12
● 新刊紹介	13

● イベント予告	13
● ESSAY ① / 濱田員嘉	15
● 新人会員自己紹介・お悔やみ	20
● ESSAY ② / 大崎京子	21
● HOT SPORTS	23

題字：吉田 佳広

巻頭インタビュー

43

私と長崎

吉田茂視

メモリー
ブ
表

地域密着と感謝の心で冠婚葬祭からホテル・少額短期保険・ワイン・チョコレート販売等に拡大



時代の変化に即応してM&A等を駆使し事業展開するメモリードグループ。「ありがとう」の気持で語る吉田茂視代表の話は縦横に広がり、示唆に富む内容となりました。

(聞き手：長崎県人クラブ常務理事牧山 康敏 撮影：井口尚美さん)

◆ ◆ ◆
グループ全体で40社
売上げ総額500億円

——メモリードさんは前身の長崎冠婚葬祭互助センターを1969年に創業して以来、48年目ですね。この間、冠婚葬祭・ホテル・少額短期保険・ワイン・チョコレート販売、観光案内など大幅に拡大。いまグループ会社は全部で何社になりますか。

吉田代表 グループ全体で約40社です。施設ではホテルが10、結婚式場約30、葬祭ホール約110カ所です。他にレストラン、チョコレート店、外食関係を含めると約30店舗になります。関東では、群馬県中心に約60店舗あります。

——グループ全体の売上げ規模はどうですか。

吉田代表 現在、約500億円です。更に目標としては1千億円を目指しています。ただ規模の拡大だけでなく、地域に密着した事業を展開していくことが重要だと考えています。今後は地元の長崎市を始め、佐世保、佐賀、福岡を重



点に力を入れていきたい。関東では群馬県を中心に東京・埼玉を拡大していく計画です。現在、全国では、1都6県で事業を展開していますが、ただ地域を広げるのではなく、地域に密着して、その地域に貢献していくことを第一に考えて取り組んでいます。

◆◆◆ 葬式は年間1万7千件 婚礼が約5千件に達す

——関東地区では、群馬県が特に多いですね。何故ですか。
吉田代表 群馬には創業12年目の1982年、最初に進出しました。土地が安いうえ、新幹線が開通する見通しがあったので有望と考えたわけです。
——葬祭関係では、葬儀は年間何件ぐらいに。
吉田代表 葬式のお世話は昨年が1万7000件。婚礼が5000件近くになります。

——少額短期保険にも力を入れていますね。互助会ではメモリードさんが最初に始められたとか。
吉田代表 少額短期保険は伸びています。その背景には核家族化があります。実は27年ぐ

らい前にオランダで葬儀保険が伸びていることを知り、現地の葬儀保険専門会社を訪ねて学んだわけです。当社は2008年から本格的に少額短期保険を始めました。この部門は良く伸びています。現在、口座件数は4万5000件ですが、これを2年後ぐらいには10万件にしたいと思っています。年間保険収入は15億円以上になります。会社創業当時は結婚ブームもあり、結婚資金の未収が多かった。当時は子どもが多く親も支払いが大変だったわけです。今は子どもが少なく高齢者が増えていく。長寿社会になって子どもが定年を迎えて年金生活になってから親の葬儀を行うケースも多い。そうした背景もあって少額短期保険の葬儀保険の需要は増えています。

◆◆◆ 伸びる少額短期保険 進む核家族化を反映

——保険金はどのくらいですか。
吉田代表 当社の場合、最高で300万円ですが、平均すると150万〜160万円です。
——事業拡大にはM&A(合併・

企業買収)を積極的に行っていますね。

吉田代表 ホテルや店舗などでM&Aを進めています。新築するには、土地代や建設費などコストが高くなります。要請があれば買収して設備を改修した方がコスト的にも有利で早く出来る。その結果、より安く事業展開も早くなります。

——ところでご出身は北九州市門司区なのに何故長崎ですか。

吉田代表 私の先祖は有馬家の家来でした。キリスト教弾圧の「島原の乱」のときに有馬から千人の兵士を出した中に私の先祖がいたそうです。先祖は島原から宮崎県の延岡、鹿児島の水戸行き、戦後になって私の父が浅野スレートの門司工場に就職し、福岡県の門司に来ました。

◆◆◆ 大学卒後に貸衣裳会社 仲間割れして長崎に

——吉田さんは福岡大学を卒業して、仲間数人で貸衣裳の会社員の会社を興されたそうですね。これはうまくいかなかったとか。

吉田代表 仲間割れしましてね。やはり船頭ばかり多くてダメでした。そこで私は部下6人を連れて長崎に行きました。何故長崎かというと、先祖ゆかり

の地でもあるし、1歳上に福岡大学の先輩がいて、この人の紹介で行きました。長崎という地は歴史的に言っても外部の人を受け入れ易い土地柄でもあります。

——会社の創業は1969年ですが、葬祭関係によく目を付けましたね。

吉田代表 仲間6人で長崎冠婚葬祭互助センターを立ち上げました。実は京都に「京都互助センター」という冠婚葬祭の事業をやっていた齋藤近次郎さんを訪ねて学びました。葬祭関係では、葬儀の形式がそれまでの自宅葬から会館葬に変わってきつつありました。この動きは九州が早かったですね。自宅葬では料金が明瞭でないこともある。また長崎は坂が多くて自宅葬は大変です。そこで会館葬を始め

たわけですが、まず料金を明確にしました。それが伸びた大きな原因でしょうね。そして創業5年目の1974年に当社初の結婚式場「諫早玉姫殿」を諫早市につくりました。

◆◆◆ メモリードに社名変更 人生の節目をお手伝い

——1981年に社名も現在のメモリードに変更されていますが、その狙いは。

吉田代表 「メモリアル」(記念・儀礼・儀式)と「リード」(導く・取り仕切る)という意味を込めてメモリードにしました。人生の節目、通過儀礼をお手伝いするという意味が込められています。

——伸びたのは時代の変化にマッチしたと。

吉田代表 冠婚葬祭は人生の節目です。そこをお手伝いしたいということです。今では法事も会館でやる場所が多く、自宅ではほとんどやらなくなっています。時代とともに生活様式も変化してきています。メモリードグループでは葬祭ホールを現在約110カ所持っています。が、5年ぐらいを目途に200カ所に増やす計画です。

——ホテルの買収も積極的です。

吉田代表 今では結婚式専門の施設は少なくなっています。メモリードグループとしてはホテル化することで結婚式も法事もやっていただけるように考えています。1カ所のホテルで法事は年間200件、一般宴会は1000件に達しています。ホテルでは土曜・日曜などは、法事のお客様と婚礼のお客様が入り混じっていらつしやいます。2014年には九十九島観光ホテルを買収、九十九島ベイサイ

ドホテル&リゾート フラッグ
スと改名しました。2016年
11月には佐賀県武雄市の温泉ホ
テルを買収しました。武雄市は
今後、新幹線も開通する予定で
交通の要衝になります。

◆◆◆

五島のブドウでワイン チョコレート工場も今春完成

——事業拡大と言えばワイン醸
造も始められました。

吉田代表 2014年4月、五
島にワイン醸造所として「五島
ワイナリー」を設立しました。
鬼岳の中腹にリゾート施設「五
島コンカナ王国」を運営してい
ますが、その一角です。五島産
のブドウを原料にワインを製
造し、それをホテルやレストラ
ンなどで販売しています。ワイ
ンと言えばフランスが有名で
すが、2018年は日仏友好

160周年です。私は昨年10月
下旬にフランスに行つて、ワイ
ンの歴史を訪ねてきました。長
崎には歴史物語が多い。五島に
は多くの教会があるのに、教会
のミサで配られる地元のワイン
がないのです。そこで五島産の
ブドウを使った国産のワインを
製造・販売しようと思いました。
——チョコレートの販売も手掛
けています。

吉田代表 チョコレートは、ポ

ルトガル人が長崎に初めて持
つてきました。長崎には日本で
初めてのものがいっぱいありま
す。カステラもそうです。世界
にキリスト教徒は24億人いま
すが、今後、キリスト教徒を始め、
たくさん外国人が観光に来
た場合、カサ張つて日持ちが短
いと敬遠されます。その点、チ
ョコレートは包みもコンパクト
で、値段も手ごろ。チョコレ

トは現在、ハウステンボスの中
の自社工房で製造しています。
以前は洋菓子メーカーが作つて
いましたが、経営を頼まれて、
引き受けました。ハウステンボ
スの入場者数に比例してチョコ
レートの売り上げが伸びていま
す。既に長崎県内にチョコレー
ト専門店が4店ありますが、今
年4月には長崎市内にチョコレ
ート製造工場が完成します。

◆◆◆

地域に密着し貢献第一 共に汗を流す一体感も

——企業理念について伺いま
す。

吉田代表 地域に密着して、地
域に必要な企業を目指す。利益
を上げて税金を納め地域に貢献
する。地域のためにやることに
第一です。また社員が喜ぶ会社
にすること。基本的なテーマは
「ありがとう」「感謝の気持」です。

——社員教育についてはどうで
すか。

吉田代表 社員に言いたいのは、
は、ただ机に向かつているだけ
でなく、一緒に作業するところ
に一体感が出てきます。ブドウ
作りも社員が皆で手伝う。買取
した佐世保のホテルでも周囲の
草木が生い茂っていたので社員
総出ですっきり伐採しました。
私は山登りが趣味ですが、これ
も山好きな社員20人ぐらいで一
緒に登り、共に汗を流します。

——ここで地元長崎県の問題
についてのお考えをお聞きしま
す。特に日頃感じておられるこ
とは。

吉田代表 長崎の問題は創業
経営者が少ないということだ
す。長崎で如何に創業経営者を
生み出すかを考えなくてはいい
ない。ベンチャー創業者がこれ
ば私は応援したいと思っていま
す。もちろん今も創業経営者は
いますよ。アイティアイ（IT
I）会長の市川雅夫さん。東京
から長崎に来て奥さんと二人で
会社を立ち上げられて、医療機
器関係を中心に業容を大幅に拡
大されています。

◆◆◆

創業経営者少ない長崎 人材育成にNPO法人

——ベンチャーを目指す人材の

育成策も考えておられるよう
です。

吉田代表 地元長崎大学の役割
も大きいと思っています。私は
福岡で留学生を支援するNPO
を立ち上げています。福岡大学
の留学生、日本人学生、それに
10社ほどの企業で色々交流して
情報交換しています。この話を
長崎大学の関係者に話したところ
長崎大学でも是非やりたいとい
うことで、いま、話を詰めて
います。

——吉田さんは長崎の観光客誘
致にも積極的ですね。

吉田代表 出島の復元事業も
2017年末には完成します。
これはインパクトがあります
よ。長崎市内では歴史のある寺
町周辺の整備も必要でしょう。
長崎県には未整備の観光資源が
沢山あります。私は長崎クロア
チア友好協会の会長を務めてい
ますが、クロアチアの人口は
450万人なのに、年間観光客
は1800万人だそうです。
長崎への観光客も最近は大
型クルーズ船で来て、バスで見学
して街を素通りし、夜は船で宿
泊する。これでは本当の意味で
の力ネが長崎に落ちない。長崎



県は人口が毎年1万人ずつ減少
しています。とにかく交流人口
を増やして減収をどうしてカバ
ーするかを考えないといけませ
ん。

——観光案内事業への進出もそ
うした背景が。

吉田代表 2015年10月に長
崎市内を流れる中島川沿いの眼
鏡橋の近くに「もてなしや」を
オープンしました。長崎の名所
を案内し、お客さんに喜んでい
ただこうとの考えです。近く
には古い寺町もあります。案内
パンフ「長崎まちなか まちぶ
らガイド」を作成して観光客誘
致に役立っていますが、好評で
す。

◆◆◆

隈研吾氏との出会いも 社の発展に大きく貢献

——世界的な建築家の隈研吾さ
んとの出会いについて。

吉田代表 この「メモリアル東
京」(世田谷区砧)今回はここ
で取材)の建物も隈さんのデザ
インによるものです。もともと
は1991年に広島のマツダが
車の展示場として建設したもの
ですが、2003年から東京メ



モリードホール(葬祭ホール) 時はこの斬新さが世間に理解されなかつたようです。今では斬新なデザインですが、建設当 メモリードの建物は限さんの協

【吉田茂視氏 メモリードグループ代表プロフィール】

生年月日 昭和18年9月26日
出身地 北九州市門司区
学歴 昭和41年 福岡大学 経済学部卒
職歴 昭和44年(株)長崎冠婚葬祭互助センター設立
代表取締役就任 現在に至る
昭和56年(株)メモリードに商号変更

団体歴

- 一般社団法人全日本冠婚葬祭協会 会長 理事
- 長崎商工会議所 副会長 部会長
- 長崎経営者協会 副会長
- 長崎日英日仏協会 理事
- 長崎県内スポーツ団体 役員

■メモリードグループ

- 【婚礼事業／葬祭事業】ホテル／レストラン事業／貸衣裳事業／写真スタジオ事業／保険事業／ワイン・チョコレート製造販売
- メモリードグループ 総合本部
- (株)メモリード長崎
- (株)メモリード宮崎
- (株)メモリード東京
- (株)メモリード関東

◆◆◆ 高校までは長距離走 大学は山岳部で会計

— 子どもの頃は。

吉田代表 高校までは長距離ランナーでした。当時は八幡製鉄と門鉄のどちらかに入って駅伝選手になることを夢見ていましたが、肋間神経痛で身体を壊して断念しました。走るのを止めて福岡大学に進み、山岳部に入りました。山岳部だけでなく大学の運動部全体の幹事長を担当して予算作成から決済までを私が決定しました。それに大学卒業アルバムの会計も担当し、資金面は私が全て決定しました。

— 酒豪の誉れも高いようです。

吉田代表 母方の祖父が山口で製材工場を経営しており、中学生の頃から宴席に呼ばれて祖父の傍で酒を薦められたこともあり、酒は強くなりました。

— 長崎県人クラブに対する希望・感想を。

吉田代表 過去の先輩を見ていたら中央で活躍された方が多かった。ヤクルト創業者の松園さんもお一人です。松園さんには私が35歳の時、事業のご相談するためお会いしました。恩人です。今は創業経験者が少ないですね。

— 何事にも常に挑戦の気概を持つておられる吉田さんにとっての今の夢は何ですか。

◆◆◆ 夢は一般生命保険事業

吉田代表 少額短期保険事業を拡大して一般の生命保険会社にするつもりです。今は九州には生命保険会社がないので、私が元気なうちに何としても実現したいと考えています。

— 長時間、多岐にわたって有り難うございました。

◆◆◆ インタビューを終えて

強い意志と感謝の念を体現

「ありがとう・感謝の心」

吉田茂視代表の人生哲学であり、経営のバックボーンでもある。言葉にその精神がにじむ。企業は「地域に密着し貢献することが第一」との信念を貫き、事業展開する。また会員に対する奉仕、社員への愛情も並ではない。

毎月の給料明細書が入った袋には「わたしからあなたへ」の一言メッセージを入れ、創業10年目の1979年から1度も欠かさず続けているという。そして夢の実現に向かって挑戦し続ける強い意志と心の温かさは会う人をひきつけてやまない。



アイティーアイ株式会社

本社／〒850-0032 長崎市興善町 6-7

☎(095)821-2111 FAX(095)821-2113

営業本部／〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-1-26 博多駅イーストプレイス 4 階

☎(092)472-1881 FAX(092)472-1882

営業拠点／山口 福岡 北九州 久留米 筑豊 佐賀 長崎 佐世保 大村 五島 熊本 八代 天草 大分

宮崎 都城 延岡 鹿児島 川内 鹿屋 沖縄 沖縄中部 東京 神奈川 埼玉 千葉 茨城 群馬

インドの魅力とヨーガの世界

講師 廣澤 貴子さん

ヨーガ歴・アーユルヴェーダ歴20年 講師指導歴16年
NHKオープンスクール、読売カルチャー講師、インド伝統ヨーガ・アーユルヴェーダ指導家

最近ではヨーガの瞑想が非常にストレスケアや健康に良いといわれ、NHKでも瞑想についてマインドフルネスということで特集されていて、多くの人が興味を持つようになりました。どのように心を自分でコントロールできるのか、怒りやネガティブな心をコントロールし、心を強く、安定させ、どのように幸せを得るのか。これはすべての人の普遍的なテーマとなっています。社会において、家庭において、あらゆる人間関係の中でストレスを減らし自分の役割、仕事をスムーズに進めるのに

これらは大事なテーマとなつてきます。もう一つは、アップルのステイブ・ジョブズ氏が、若いころにインドに行つて瞑想に出会つて以来ずっと瞑想をしていたことが有名になり、それが様々なクリエイティブな思考の助けになつていたとの事を明かしたり、また実際に瞑想の効果が科学的にも認められたことから、アメリカでは仕事の質と生産性を高めるために有名企業が次々と瞑想を社内研修で採用しはじめていることが話題になつています。

今日は、そのようなヨーガのお話をした後、簡単な体を動かすエクササイズと、呼吸に気づきに向けコントロールするような呼吸法、そして心を静かにさせて集中していく瞑想の体験を少しだけ一緒に実践してみたいと思います。

写真2はデリーから車で7時間ほどのヒマラヤの麓でガンジス河上流の川沿いのヨーガの修行の町で「リシケシュ」という聖者の髪という名前の場所です。ビートルズがヨーガや瞑想修行をしたところ



写真1
講演中の廣澤さん
(写真提供：井上早苗)

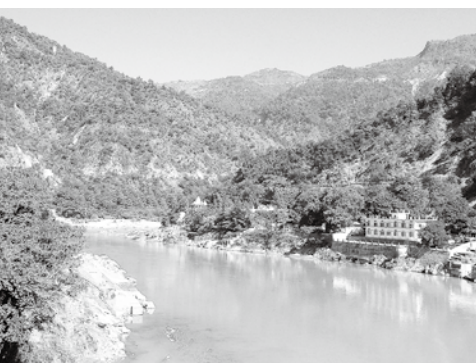


写真2
ガンジス河、ビートルズ修行の町ヒマ
ラヤの麓リシケシュ(写真提供：講師)

ろとして良く知られています。ビートルズの歌の歌詞をよく見ますとインドの哲学的な発想の表現がよく出てきたりして、やはりインドでのヨーガ修行をしていた時の影響を受けているとわかります。私が初めて1999年にヨーガの研修で訪れたのがこのリシケシュという町の「シヴァーナンドアーシラム」というヨーガの僧院でした。インドのガンジス河というと、多くの人が、「汚い」「死体が流れている」というイメージを持っているかと思いますが、ここに写るのはガンジス河の上流で、10月、11月ごろのガンジス河は美しいエメラルドグリーンで水は澄ん

でいてとてもきれいに見えます。もともとガンジス河はヒマラヤの雪解けの水で、氷河の一滴一滴がポトツと落ちて流れていった本当はキレイな水なんです。またガンジス河は実際に見るとやはり普通の川ではないんですね。独特なムードがあつて、そこには常に祈りがあつて、そして生活があつてすべてを受け入れ、とうとうと流れている母なる大きなエネルギーというような感じがあります。私はこのガンジス河で毎朝沐浴をしていたんですが、初めて入つて胸まで浸かり、流れの真ん中に立つたときのなんと说不出的自分と自然との一体の感覚は今でもはつきり覚えています。そして頭までずっぽり川の中に入った時、なぜか温かい感じがして女性的な、母なる女神さまに抱かれているというような感じがしたんですね。インドではガンジス河で沐浴をすれば今まで行ってきた悪いこと、すべての罪は洗い流されて帳消しになると考えられているらしいですが、確かに沐浴のあとは非常に清らかな清々しい気持ちになり、身体が軽くて、なお、かつ温かくてエネルギーッシュになつていくように感じました。不思議なのは、インドではよくこのガンジス河の水をお土産として持って帰れるように小さな壺のような入れ物が売られていて、それに水を入れて持

ちかえるんですが、その水は何年たつても決して腐らない臭くもならないといいます。実際に私の持っているのもそうです。私はこのリシケシュの町からさらにヒマラヤの奥地へといったこのガンジス河の源流や、チベットやネパールの国境近くの山中のインドの修行僧たちが滞在するような聖地へ、ヨーガの高僧と一緒にいつてヨーガのお勉強と研修をしてきました。

私は約20年インドのヨーガ、そして伝統医学であるアーユルヴェーダ、この二つを専門的に勉強し、また体験してまいりました。講師としての仕事は2000年からスタートしてまして、主にNHKのオープンスクール、よみうりカルチャーセンター、フィットネスセンターや企業の中で、また都内の高校や、専門学校などでヨーガの指導やレクチャーを行つてきています。現在はカルチャースクールのヨーガ講座の監修、講師の育成や指導者研修、講演や執筆などでストレスケアや予防医学、代替療法、若返り法として、インドのヨーガ大学、研究所で行われているプログラムを日本人が無理なく行えるよう紹介しています。私はヨーガを学ぶ上で非常にラッキーだったのは、インドの伝統的な生命の科学、意識の科学としてのヨーガを、日本でアレンジされた

教科書だけで学ぶのではなく、そのスペシャリストであるインドのヨーガの出家修行僧であり、その世界の実体験を積んでいる師と出逢うことができ、そのお修行僧たちだけが入れれる聖地に滞在しながらインドの伝統的な様々なヨーガの体系や哲学、古典などを直接その方からご指導いただいて、生きた体験を共に身につけ、知ることができた事です。それは私のヨーガ指導に対する自信の核になっています。

私が2005年から2010年までの間に回ったヒマラヤの4大聖地があるんですが、ヒマラヤという言葉は「雪の蔵」というような意味があるそうで、山が開くまでの冬の時期は何メートルもの雪で閉ざされた世界になって、普通人は入れないんですが、インドでは悟りを目指す修行僧たちには政府が特別に山に入れる許可を出してくれるんですね。私はなんと、その山開きの前からお坊さんたちと入ることができて、その雪に覆われた世界の美しさと怖さ両方を体験しました。しかし、インドでヒマラヤに修行に入っている人たちは悟るために真剣ですから、外国人でましてや若く見える(?!)

女性ですから実際には非常に厳しい目で見られることのほうが多いわけです。決してウェルカムなムードではないので、そういう意



写真3 NHKやよみうりカルチャースクールの社会人向けストレスマネジメントヨーガ (写真提供…講師)

味ではこちらも真剣に学びたくてここまで来たとなわかってもらうまでは大変でした。

写真4はガンゴトリというガンジス河源流で標高は3400くらいの場所です。ここ以外にもうあと3つの有名な聖地があり、私はすべて周り、滞在しながらヨーガを学んできました。写真4に写っているのはウツタラカーシー(北のカーシー)といわれる場所です。ここはガンジス河が下っている流れが、もう一度上に向けて方向を変えているところといわれます。そこに庵、アーシラムに住んでいるスワミジで、この方はずっともいいお顔をされているんですが、アーユルヴェーダの知識もよくご存じで、ご自分でヒマラヤの薬草からお薬を作ってしまうような

智慧もお持ちで私はそのフレッシュな薬草の薬もいただいたりしました。スワミジというのは、出家修行僧で高僧の総称で「ジ」というのは尊敬を込めて呼ぶときにつけます。その方たちはすでに人間としてすべての生活を放棄し、悟りと、救済のためだけに生きるため、家族や通常の世俗的な生活を捨てて、人間としては一度死んでスワミとして新たな「生」を生きる誓いの儀式をするんですね。家族を持つたり、普通の人間の生活には二度と戻れないんです。そしてオレンジ色の衣だけを纏うようになるんですね。人間の名前も捨て、お坊さんの呼び名になる。例えば、「スワミ・プレマナンダ」というような、たいてい最後に「Ananda」アーナンダ(至福)、仏陀の弟子にもアーナンダという名前の方がいましたね、「プレ

写真4 ガンジス河源流ガンゴトリ (写真提供…講師)



写真5 ヒマラヤ聖地バドリナート (写真提供…講師)

マ」は愛です。「愛の至福」というような呼び名になったり、「スワミ・シヴァアーナンダ」となったり、そのような呼び名に変わるわけです。ヒマラヤの聖地ではだいたいの日中の数時間は日が差し温かくなりますが、あとはとても寒くて夜は何枚も重ね着をして靴下をはいて帽子をかぶって寝袋にくるまります。そして日が落ちれば電気もなく真っ暗、というより真っ黒な世界です。だから蠟燭やランプを灯し、ある時はトイレに灯した蠟燭が倒れて木を焦がし、夜中に煙で目が覚めて、危なくヒマラヤで永遠の眠りにつくところでした。翌日はお坊さんにものごく叱られました。そのように寒いから火を灯して寝てしまう修行者が何人も死んでいるらしいです。

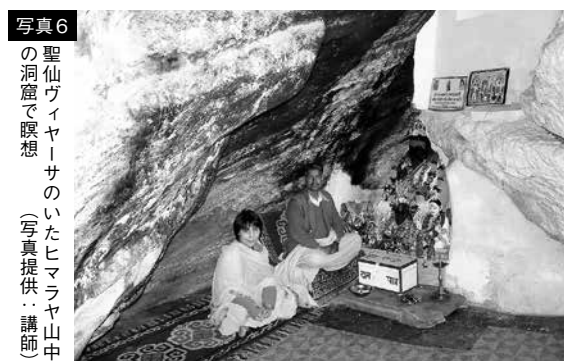


写真6 聖仙ヴィヤーサのいたヒマラヤ山中の洞窟で瞑想 (写真提供…講師)

ヒマラヤ山中の聖地では日中の数時間だけ日が差して温かくなります。その時間に哲学や、経典などを学ばれます。ヨーガはインドではもともと哲学という位置づけになっています。ただ、哲学というと頭でお勉強するようなイメージがありますが、ヨーガは実践、体験によって学ぶ哲学となります。ですから、ただヨーガの呼吸や瞑想をすると素晴らしいと知っても、実際に自分自身がそれを体験し素晴らしい人にならなければ意味がないのです。だからヨーガは自分の体験を通じて「真に悟る」ということにこだわります。また昼間はあちこちから修行者が集まってきて、聖典を読んだり、賛美歌のような神聖な言葉を繰り返したり、神様を讃えたりするよ

うな歌を歌ったりして、過ごします。

ヒマラヤの山中には、聖典の中や、叙事詩の中にでてくる伝説のお話の場所が実際にいくつもその痕跡を残して実在していました。この古い洞窟はインドの聖典をのこした有名なヴィヤーサという聖仙がいた場所といわれています。そんな多くの貴重な体験と共に私はヒマラヤの中で修行僧の方たちからヨーガを学ぶことができました。

インドには世界に貢献した3つのものがあるといわれます。1つは身体のためにアーユルヴェーダ、2つ目に精神のためのYOGA、そして3つ目に生き方としての哲学です。そして実はこの3つは同じ「ヴェーダ」科学という古代の生命科学が源流となっており、その智慧はいつの時代でも、どの国でも、宗派、人種に関係なく人間であれば誰もが、健康やより良い生活のために、実践、応用できる普遍的な自然法のようなものです。そして私とインドとの関わっている17年間は主にこの3つがベースとなっています。

アーユルヴェーダはインドの伝統医学ですが、WHO(世界保健機構)も代替療法として正式に推奨しており、現在ではインドでアーユルヴェーダとヨーガで心身を調え、リセットするための外国人



写真7
インドの高僧と

(写真提供：講師)

向けの滞在型ヘルスリゾートも増え、世界中から本格的な体験を求める人々が訪れるようになっていきます。アーユルヴェーダはもちろん医学ですから病気の治療をしますが、注目されるのは、病気になるためにどうしたらよいか、私たち一人ひとりの体質に合った養生法を詳しく教えてくれている予防医学としての部分と、もう一つ、ユニークなのは「若返り」も医療対象にしていることです。そしてアーユルヴェーダではすべて薬草などの自然のものを使い、私たちの生命全体のバランスを調え、自然治癒力を高めて、自分のチカラで乗り越えられるようにしていきます。その治療法は例えば、不調の原因となっている体内に蓄積した毒素を排泄するために、身体を温めた薬草のオイルで全身をマッサージしたり、そのあとでスチームサウナのような箱にカラダ

だけ入って発汗したり、有名なのは額の脳下垂体のあたりの位置に、温かいオイルを30分ほど左右にゆっくり揺らしながら垂らし続けるシローダーラという脳にアプローチをする方法で、これはストレスや不眠などにも素晴らしいです。

もう一つの貢献はヨーガです。昨年からユネスコが毎年6月21日を国際ヨーガの日と制定し、世界中でヨーガが行われるようになりました。インドのモディ首相は「ヨーガは単なる運動ではなく、またと世界、そして自然とが一体である感覚を見出し、心身の統合を具現化し、思考と行動、人類と自然を調和し健康と幸福を目指すホリスティック(全体的)なアプローチである」と説明しています。ヨーガは身体を使う運動的イメージがありますが、その目的は肉体ではなく、心の「コントロール」と「意識の拡大、進化」にあります。しかしヨーガとアーユルヴェーダは昔からとても密接に関係しあっているこの2つは「姉妹科学」と呼ばれ究極的には同じところを目指しています。身体を生き生きと、強く、健やかにしたならば、今度は私たちの意識をより今高度に、進化させていく、それはお釈迦さまが瞑想によって到達した悟り、涅槃、ニルヴァーナといわれるすべての苦しみ、束縛、

無知から解放される世界ですよね。実は本来ヨーガの目的はそこなんです。そのためにまずは私とは何か、ヨーガは自己を知る科学といわれます。ヨーガの語源はもとともサンスクリット語の「ユジュ」という言葉で、その意味は「繋ぐ」とか「合一」英語だと「UNION」というような意味を持っています。私たちはヨーガという

い扱いがわかればもつと生きるのに便利ですね。そのように自分を知る科学であり、そして自分の中の治る力、癒す力、復元力、創造性、至福性、様々な才能を目覚めさせる大きな可能性と出会う事、これがヨーガです。

そのことによって心を静め安定させ、自分やこの世界の真実に気づきましよう。私たちは自分といういのちを生きていて、人生で一番ながく付き合うのが自分にもかかわらず、自分を知る機会は生きていくうちに本当に少ない。病気にでもならない限り。人や周りのことには素晴らしいよく見えるし気づきます、しかし人は一番自分自身を知らないのです。身体や呼吸、心、意識をどう扱ったらいいか、実はほとんどわからずに無意識に使っているんですね。パソコンやスマホの使いかたは一生懸命、時間とエネルギーを使って勉強するんですね、使いこなせたら便利ですから。しかし自分の正し

ための哲学です。哲学というとギリシャがよく知られています、インドも有名です。私とは何か、世界はどのように成っているのか、なぜ生まれ、なぜ生き、なぜやがてはこの肉体を去らなければならないのか。私たちはこの人生を、肉体を持つている間、どのように生きたらよいのか、など、そのようなことを説明している哲学というものがインドにあります。そして実はヨーガはインドでは哲学という位置づけになっています。インドには六派哲学というものがあってその中の一つが「ヨーガ学派」で、ヨーガは学問なんですね。今はきちんと情報伝わり科学的にも説明され、正しい理解がされるようになりましたが、少し前まで日本ではヨーガは宗教だとか、怪しいもののような誤解がありました。わたしもヨーガを教え始めた16年ほど前は、まだまだ今のようには知られておらずに、まったく宗教とは無関係にもかかわらずヨーガというだけでずいぶん変な目で見られたもので

す。ヨーガは本来は、宗教でも、また体操でもなく、例えば医学という学問は学びたいと思うすべての人が国、宗派などに関係なく学ぶことができるように、ヨーガは真の健康やより良い人生や、幸福を求め、知りたいすべての人が学ぶことができる学問なんです。私はこの3つに関してインドと関わってきました。

次に、それらを理解するのにまず知っておきたいのは、アーユルヴェーダとヨーガの持つ「生命観」についてです。実際に体験する前に、少しでも簡単にお話しておきたいと思います。ヨーガもアーユルヴェーダも私たちの存在、生命をどのようにと捉えているかというお話です。ヨーガやアーユルヴェーダでは私たちは単なる血肉の物質の塊だとは考えていません。人は物質である粗大な部分の肉体と、それを動かしている目に見えない精妙なエネルギー、意識、この両方から成っていると考えています。

そのことをウパニシャッドという哲学では、人間は5つの鞘(さや)を持つて存在していると教えています。存在の1番粗大なレベルがで肉体「食べ物で作られる鞘」、と考えています。しかしその肉体はそれだけでは機能しませんが、その肉体を動かして生かしているのはより精妙な「生命エネルギー

写真8

生命観5歳論



ーの鞘」そのエネルギーが心臓を動かし、呼吸をさせ、手足や全身の動き、内臓の働き、血液や神経回路に流れを起し、物質である肉体を生かしています。イメーと似ているかと思いますがヨーガではプラナといい、肉体を生かすヴァイタルフォースです。ここは呼吸ともとても関係しています。そして3つ目は「心理の鞘」この私たちの想いによって気が動き、そして行動となり肉体を動かします。仕事も「さあ！やるぞ！」という想いが、エネルギーとなり、脳に司令を出し、肉体をシャキシャキ動かすわけです。もし、気持ちが悪く乗らない、「やる気」がなければどうでしょう？ 気持ちによつて気が動き、身体が動くわけです。

ここまで私たちの持つ3つの鞘は常に変化するものと考えています。肉体も子供時と今とでは見

た目も状態も明らかに変わつてますね。そして「今日は元氣そう」とか「ずいぶん弱氣だな」とか「あのひとは強氣だな」とか「陽氣、陰氣なムード」、というように「気」エネルギーの状態も変わります。「病氣」もまさに「氣」が「病む」ことを表し、エネルギーの鞘が不調和を起した状態です。心も、時々イライラして怒りますが、ずっとそのままではない、非常に穏やかで平和な時もあれば、嬉しくて感動したり、悲しくて落ち込んだり、とやはり常に変化しています。そして昔からこのように言いますね、「病は氣から」と。昔から、人は、心とエネルギー、身体は繋がっていることに気づいていました。

そして4番目の鞘、これは「理智の鞘」正しいことをすでに知っている自分です。学校や誰かに教わらなくとも、生命が共通して持つている智慧、情報の場。ここがうまく働いていると直観が働いたり、感情抜の正しい判断、認識ができるようになります。ユングが集合意識といったり、また、宇宙意識と呼ばれる部分です。ヨーガの瞑想はここが正しくは働くようになります。

さらにその奥には「至福性の鞘」といつて存在そのものが、すでに至福に満ちた存在だという部分です。本当はすべて幸せと感じるけれど、外側の何かが与えてくれ

ているのではなく、すでに自分の内にあるから「幸せ」と感じる。この至福性とは、安定した幸せで、現れたり、消えたりするものではない。常に変わらない幸せ、それがすでにある存在の至福性。その鞘の中に在るのが人の本質「真我」、本当の自分だと説明しています。

ところが通常は、自分がこの体心だと思い込んでいます。この実態のない、常に変化してしまうものを自分だと思込むから、様々な苦が起るのだといえます。「私の身体」なんですけれども、身体が私なのではないですね。嬉しい、悲しい、喜び、怒りは「私の心の状態」ですけれども、私が心ではないですね。身体も呼吸も心もそれらの変化を「見る」ことができますね。その見ている者、認識している者、が「私」だ、というのがヨーガの考え方です。そしてそのことを、直接体験してみましよう、というのがヨーガです。

ヨーガもアーユルヴェーダもこの肉体だけを扱うのではなく、この5つの領域全体にアプローチしていく健康法です。まさにホリスティックな、心身一如の健康法です。近年は医学の世界でも「精神神経免疫学」という分野が注目されていますが、心の問題が解消されず、抑圧され、蓄積したものが、身体に不調として、病氣と

して現れてくる。心身問題と呼ばれます。多くの不調は運動不足もありますが、ストレスや心の葛藤や抑圧が原因で、食生活や生活スタイルが乱れ、不調を招いている、というのがほとんどと言われます。ヨーガでは心がすべての土台だと考え、心のコントロールが大事であると考えていますが、それは簡単ではないんです。何も考えるな、心を常に平和に保て、と言われてもなかなかできないですね。しかしヨーガでは、人の身体と心は、呼吸を通じて変えられることを発見したんですね。呼吸が変われば心も身体も変わることに気づきました。ですからヨーガでは呼吸をとても重要視しています。呼吸が変われば心も脳も変わるからです。

今日のお話の最後になります。が、呼吸の生理学について簡単にご説明した後に、実際にヨーガ体験をしていきたいと思います。

私たちは「オギャー」と生まれてから呼吸は無意識に行っていますし、今日もいまこの瞬間まで呼吸に気づきを向けることもなかったと思います。私たちは物を食べなくても、水をのまなくても数日は生きられますが、呼吸は1日しなくて生きられないのでしょうか？ 呼吸は生命を支えるのにそれほど大事なものですけれども、一番無意識でいますね。そして実は

その呼吸は無意識に行っている間は、自律神経によつてコントロールされています。呼吸は、自律神経（私たちの意思に関係なくすべての内臓や脈拍、血圧、代謝などの機能をコントロールしてくれている）に司られ、さらにその自律神経は、脳の視床下部によつて司られています。吐く息は副交感神経に、吸う息は交感神経にダイレクトにつながっています。ですから呼吸を意識化しコントロールすることでそれらを整えることができるのです。また人がイライラしたり、焦っているときは呼吸が早くなり、同時に筋肉も緊張します。気持ちが穏やかな時は呼吸がゆっくり深くなり、同時に筋肉の硬直がゆるみます。先ほどもちよつと言いましたが、呼吸を変えれば身体も心もコロコロと変えられる、呼吸はカラダをつなぐ架け橋なのです。

たヨーガの呼吸は脳のまだ未知なる使われていない領域まで目覚めさせ、人間の可能性も目覚めさせることができることも説明しています。ですからヨーガでは呼吸はとても大事にしています。ナポレオンヒル（米国の著作家。成功哲学の祖）の思想は現実化する、ですとか、マールフィー（米国の宗教家）の成功で哲学に「人は思った通りの人になる」というものがありませんが、何千年前のヨーガ聖典の中にはすでにそのようなことが書かれていました。肉体、呼吸がコントロールされて初めて私たちは自分の心をコントロールし、瞑想、言い換えれば生命の可能性、無限可能性のゼロの領域とつながることができるようになるわけです。だから、ステイブ・ジョブズやビルゲイツ、その他の天才と呼ばれるような人々は、自分の限界を超えていくために瞑想を実践するようにするということですね。

でも天才や、発明家まで考えなくとも、瞑想は健康にもよいことがわかってきています。ヨーガの最終的な目的は瞑想です。ヨーガの経典には「ヨーガとは心に起こる波を完全に滅することである」と定義されています。無になろうという試み。こころのお掃除、リセットですね。コンピューターもそうですね、一度リセットし、古い情報、いらぬ情報をクリア

にすると、また早く動くようになりますね。瞑想もそれと近いものがあります。心の中、思考を一回断捨離、です。これは実はとても大切なことで、インドの人はこう考えます。弓矢を遠くに飛ばしたければ、飛ばしたいほど、大きく後ろへ引かなければ飛ばない。高層の高いビルを建てようとすれば、するほど、まず地下深く深く掘らなければいけない。良い活動を効率よくしたければ、よりよい休息、反対のことをしつかりしなければならぬのですよ、と。それが瞑想が薦められる意味です。

【廣澤貴子ホームページ】
www.studiotejas.com

【FBページオリエントアルアプローチ】
https://m.facebook.com/oriental.
approach/?ref=bookmarks

【問い合わせ】
takakohirosawa@gmail.com

今、ヨーガ、瞑想を実践する有名人が多く、話題になることがよくあります。たとえば片岡鶴太郎さん、素晴らしいアーティストであり、俳優さんでいらつしやいます。ステイブ・ジョブズ氏はインドに行つて瞑想を習っていました。そしてその後も実践されていたといえます。そして彼は「瞑想することによつて集中力が高まつたり、意識が落ち着き、ブレない自分を作ることが可能だ。」と言っているそうです。そしてそれを裏付けるように、ワシントン大学の研究によつて、「瞑想をすると集中力が実際に増した」ということが証明されたデータがあるそうです。では最後に少しだけ呼吸を

写真9

瞑想中の参加者（写真提供：井上早苗）



超音波洗浄器

アイワ医科工業株式会社

代表取締役 本田武利（諫早市高来町出身）

〒113-0033 東京都文京区本郷3-25-4

電話：03-3814-2291（代）

FAX：03-3814-2197

* 超音波洗浄器製造一筋 創業1965年

* 医科・歯科・理化・工業・宝飾等

多方面の業界において活躍

* 硝子器具・手術器具・機械部品等

あらゆる分野の精密洗浄に最適

* 全80種類の標準製品を在庫

ひと

長崎新聞社取締役東京支社長 今福 雅彦さん

東京の情報を紙面に反映し広告面にも注力！
長崎新聞は「ハイパーローカル紙」に徹する

長崎新聞は紙面に人を多く登場させています——と今福さん

年の歴史を誇り、長崎県で唯一の「県紙」である。

県内に14支局と東京・大阪・福岡・佐世保の4支社を構える。今福さんは紙面総責任者として論説担当兼編集局長を2012年12月から3年10カ月務めた。基本的な編集方針は「ハイパーローカル紙に徹することです」と明快だ。地元主義を徹底して情報を提供する確固たる信念である。

紙面には「出来るだけ人物を登場させる」方針を貫く。「人それぞれの生きざまを紹介する。これがないと長崎新聞の存在価値はない」と言い切る。

1982年、長崎大学経済学部を卒業して同社に入社し編集局配属。記者の駆け出しは警察と運動部担当。その後、江迎と大村支局長を計7年間務める。編集局報道部に戻り県政や市政を中心にほとんどの分野を担当。報道部デスク、総務部長を経て2011年に総務局長に就任。

ところで長崎県は多くの課題を抱える。中でも人口減少は深刻だ。県の人口は136万人台まで落ち

込んでいる。定年後などのUターンや若い人のIターン等で定住人口を増やすことが大事で「都市部から地方に人を如何に引き付けるかが鍵」という。同時に観光客の誘致など「交流人口を根付かせることも必要」と指摘。

県や自治体に対しては——「総花的ではなくメリハリの効いた施策が必要」とスバリ直言。有能な人材が必要なら「国や県に遠慮せず要請すればいい」とアドバイスも。

小学時代は転校相次ぐ
大学ゼミで国際金融論

1958年、佐世保市で生まれる。父親が警察官だった関係で「小学生の頃は転校を繰り返した」とか。小学校は佐世保市の光園小学校に入学、3年生で大村小学校、6年生の時に平戸小学校に転校し中学3年まで過ごす。「長崎市に落ち着いたのは長崎南高校に入学してから」という。

小学校ではソフトボール、中学では野球をやり「南高校は当時、ラグビーが強く野球部はなかった」。長崎大学経済学部に入學し準硬式野球部に。「全国大会にも出場したが、1回戦でばる負けしました」。

長崎大学時代で印象に残るのは「国際金融論の都野尚典先生に弟子入りして人生訓を学んだこと」。人生訓と言っても「平たく言えば

(酒の)飲み方を学んだだけです。が、残念なことに先生はつい最近亡くされました」との追悼の念に感慨がこもる。

趣味は酒とカラオケ
ゴルフ・マージャンだめ

大学を卒業して長崎新聞社に入社。電機メーカーに内定をもらったが、長男でもあり両親も地元での就職を希望していた。マスコミ関係に行きたいとの思いも強く、ちょうど長崎新聞の採用試験の広告が出ていたので受けたところ「たまたま受かり、お世話になることになりました」と振り返る。

長女が昨年11月に結婚し、長男も今年春に大学卒業予定で、「やつと肩の荷がおります」と相好を崩す表情に「優しい親父の顔」がのぞく。ゴルフもマージャンもせず、趣味はもっぱら「飲むこととカラオケ、それしかありません」と飾り気はない。だが、話の端々に新聞人としての強い使命感と洞察力が読み取れる。

最後に県人クラブへの思いを語ってもらうと——「歴史ある長崎県人クラブの一員(同氏は理事就任)に入っていたが、緊張していますが、出来る限り協力させていただきます」と語る。県人クラブは強い援軍を得たことになる。(文・牧山康敏 撮影・内堀勝之)

新聞社の編集局長と言えは社の対外的な「顔」である。直前まで長崎新聞の「顔」を務めていた今福雅彦さんが、昨年9月、東京支社長に赴任した。県紙としての報道使命や、地元長崎の課題を複眼的に指摘し、方策を提示する。半面、お酒とカラオケを愛するジャーナリストの素顔には、実直で行動派、親しみやすい人柄がにじむ。

*

東京支社は東京・銀座8丁目にある。東京での生活も仕事も「今回が初めて」の経験。「銀座1丁目

から8丁目までやつとイメージが違った感じ」と屈託ない。支社長としての抱負から——「東京で仕入れた情報を紙面に反映させ、加えて営業サイドからは広告に力を入れる」。広告がなければ新聞は出せない。経営基盤が第一です」と語る。取締役として経営者の視点である。

支社は支社長を含め編集部長1人、営業部長1人と部員3人、女子事務員1人の7人体制で、首都圏の取材・営業をカバーする。長崎新聞は1889年の創刊で、127

社間 訪問

玉木公認会計士事務所

「お客様の役に立ち喜んでもらう」をモットー 公認会計士業務・税理士業務・司法書士等順調



若い頃の病院勤めも良い体験でした……と玉木さん

玉木公認会計士事務所の設立は1988年で今年29年目を迎える。業務も順調に拡大しクライアントからの信頼も厚い。玉木國隆所長の「お客様の役に立って喜んでもらう」との基本理念が従業員にも取引先にも浸透している証である。1998年には「タマックスコンサルティング」も立ち上げ、業務のウイングを拡げている。

事務所は近年、変貌著しい東京・調布市の京王線調布駅近くの目抜き通りのビルに構える。業務内容は税理士業務、公認会計士業務などだが、税理士業務が約70%、会計士業務が約30%。他に弁護士・司法書士・社会保険労務士などと提携してクライアントの要望に添えている。法律関係については実

弟の玉木賢明氏が経営する「玉木賢明法律事務所」（新宿区四谷と連携して対応している。

具体的業務内容では法人の国税関係でみると法人税、消費税、地方税などに関する申告と帳簿の記帳や節税対策の相談など多岐にわたる。また個人では事業税・所得税の申告、資産相続関係、税務相続、法人設立登記など。個人的な遺産相続や税の相談、事業継承の問題まで多様なコンサルティング事業も行っている。

信頼関係の構築が第一 コンサル会社も設立

これらの業務相談には個人の事務所だけでは対応できない場合は「司法書士や弁護士などと連携して行う」ことにして業務遂行の連携システムも構築し「事務所に来ればどんな相談にも対応できる『ワンストップ』型の会計事務所がウリ」である。これもモットーに掲げる「少しでもクライアントや個人の悩みを解消することに役立つこと」の実践の現れでもある。同時に強調するのは「お客さんとの信頼関係」だ。「私どもの仕事は法人、個人を問わずその人の全てを

知る立場にあるので、秘密を守り信頼関係を保つことが一番と考えています」と信頼重視の経営姿勢を貫いている。

事務所の陣容は所長を含む税理士2人と一般業務に従事する職員計8人。取引先関係（クライアント）は法人関係85社と行政など公益法人を合わせて約90社。当面の目標としては「法人クライアント100社の達成を目指す」と意欲を見せる。個人の相談件数は常に100件を超えている「のも強みである。

顧客は中小企業や個人が中心だが、地域の公益法人などの依頼にも応えている。企業からは経営相談や人材などの相談も多く寄せられることから1998年に「（有）タマックスコンサルティング」を設立し経営指導などを行っている。社長は玉木所長が兼務。他に10社の監査役を務め、また調布市の代表監査委員や東京都商工会連合会の監事などでも活躍しているが「公認会計士の資格が役立っていると思う」と語り（資格の重み）を改めて実感している様子。

若い頃の苦学体験 経営理念の原点に

玉木さんは諫早市出身で1942年生まれ。県立諫早商高から長崎大学商科短期大学（夜間）を卒業。高校卒業後、社会保険諫

早病院に準公務員として就職し、1964年東京経済大学商学部に入入学するまで4年間勤務した。「若い時に人生の縮図を垣間見た病院勤めがその後の仕事にも役立っている」と語っており「人のために役立つ」考えの原点でもある。

同大学卒業後の1968年に公認会計士試験に合格するなど苦学で得た体験を「今後も事業経営に活かしていきたい」との決意を新たにしている。

常に笑顔で対応する誠実な人柄がクライアントの信頼を得て、そして所員との一体感で税務・会計・法務の分野で「お客様の役に立つ」業務を支える。

（文：牧山康敏 撮影：内堀勝之）

■事務所紹介

事務所名	玉木公認会計士事務所
代表者名	玉木國隆
住所	東京都調布市布田1-40-3 佐藤ビル5F
TEL	042-487-6441
FAX	042-487-6267
営業時間	9:00～17:00
休業日	土日祝祭日
設立	昭和63年
交通（最寄駅）	京王線・調布駅・北口出口徒歩3分
従業員数	8名（資格取得者2名）

長崎ゆかりの交流会が盛況

平成28年11月2日(水)、八芳園(港区白金台)において、長崎県主催による「長崎ゆかりの交流会」を開催しました。当日は、中村法道長崎県知事や田中愛国長崎県議会議長をはじめ、長崎県ゆかりの皆様、総勢約380人の方々にご参加いただき、盛会のうちに長崎県と首都圏を結ぶ絆を強くすることができました。

まず、懇談会の前に、世界遺産登録を目指す「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」に関連



挨拶する中村知事

し、首都圏の皆様が「長崎県応援団」となっていただけるよう積極的にPRを行いました。

(長崎県東京事務所 國廣正彦)

第17回長崎北高東京支部同窓会

第17回長崎北高東京支部同窓会は平成28年11月5日に原宿のイタリアンレストラン「リストランテ・ベニレベニレ」にて、68歳を筆頭に20代半ばの紳士・淑女が総勢130名集い開催されました。

例年通り、「総会」での活動報告、会計報告は極めて短時間で済ませ、郷土の「長崎市ふるさと納税」と「ながさき移住」についてのご案内と、はるばる長崎から第四代同窓会長が参加され、故郷の様子を紹介していただきました。

続いて東京支部長の乾杯の発声で懇親会のスタートです。今年は

ちょうど半世紀を遅く生きてきた18回生が幹事を務めました。彼らの世代を賑わせた映画を題材にしたオープニングビデオは圧巻で、参加者の目が釘付けになりました。

さらに北高OB・OGを中心に構成されているコーラスグループ「コールN」のDVDが流れ、永年の活動に称賛の拍手が鳴り響きました。

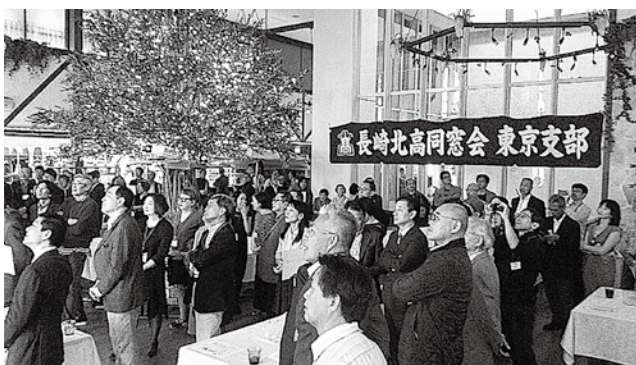
また、恒例となった「還暦」回生のお祝いは、20数名にステージに登壇いただき記念撮影、記念品の贈呈、9回生代表挨拶と盛り上

がり、「還暦」はまだまだこれからだといわんばかりのパワーで溢れかえりました。

メインイベントの長崎や北高にまつわる「大クイズ大会」では同窓生を縦割りにしたグループ編成にして、長崎和牛ステーキ、長崎和牛ローストビーフ、長崎物産、長崎〜羽田往復航空券などの豪華賞品獲得を目指し「両道頭場」の頭脳をフル回転してしのぎを削りました。

「神つてる」同窓生がいたことは北高の新たな伝統になるのではないかと。

来年の再会を固い握手で約束し、お開きとなりました。



(長崎北高同窓会東京支部事務局 武富和宏)

第37回長工・関東支部総会・懇親会開く

平成28年11月12日(土)、電子工学科と情報技術科が幹事科となり日本橋鉄鋼会館にて開催。本部から山田親会長、関西支部から横山高明会長、母校三好展弘校長等のご来賓と多数の同窓生の参加を得て105名が集い総会・懇親会や有志参加による二次会と楽しいひと時を過ごしました。

総会では木戸紀雄会長から発展

する関東支部の状況説明とご挨拶を頂き、また本校の状況について三谷先生より全国大会出場を目指

す大活躍中のヨット部と在校生各クラブの活躍の様子をご紹介頂きました。

イベントでは長崎出身でシンガーソングライターの上奥まいこさんの素敵な歌声を聴かせて頂きました。2014年スタートした「NKK女子会」も順調に拡大し、今回も女性の参加増員を得て華やかさが増しました。

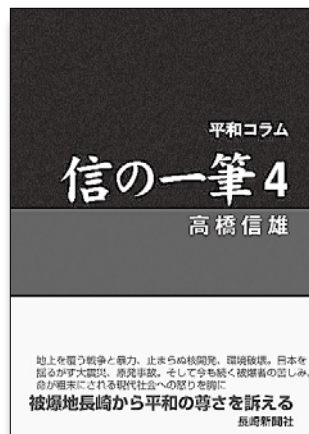
話が尽きぬ懇親会の締めは次回幹事科の電気科を代表し西村寿紀先輩から手締めと今回幹事科の濱口健志郎さんの再会を期しての閉会挨拶でお開きとなりました。

同窓会役員・幹事一同次回も皆様とお会いするのを心待ちにしております。(広報担当 千住 裕)



新刊紹介

長崎新聞の名物コラム「水や空」を執筆していた元論説委員長、高橋信雄氏のコラム集第4弾。前作第3巻刊行後の2013年4月から2016年3月末の退職までに掲載された中から250編を選んで収録した。



「信の一筆4」

高橋信雄著、長崎新聞社刊

高橋氏は、長崎新聞社に入社以来、報道の現場で約40年、記者ひと筋に働いてきた。原爆・平和問題に造詣が深く、ぶれることなく戦争や暴力への徹底的な反対姿勢を貫き続けた。世界各地で絶えることのない戦争、テロ、流血の事態をはじめ、環境破壊、東日本大震災のその後、今も続く被爆者の苦しみ、地域の課題などなど。多岐にわたるコラムの数々は、長年にわたって研ぎ澄まされた記者としての感性によって裏打ちされ、時に鋭く、特に軽妙に、現代社会へ警告のシグナルを鳴らす。高橋氏はまえがきの中でこう書いている。「読者を代弁し、何ものをも恐れず、『何でも言う』ことがコラムの使命であり、存在価値である」。深い覚悟のこめられた珠玉の作品を、ぜひお読みあれ。

B6判370ページ 1000円＋税

入り組んだ長い海岸線、離島や半島の多さという地理的な特徴に加え、国際交流の歴史と文化に彩られた長崎県だけに、橋の姿かたちもさまざま。



「長崎県の橋」

長崎橋梁研究会編、長崎新聞社刊

交通手段の中心が船だった時代から自動車社会に変わるなか、海などで分断された県土を有効利用し、交通の利便性を考え、造り続けてきたからこそ多種多様な橋が存在している。本書は、長崎県庁で長く橋梁建設の業務に携わってきた中忠資さんと、長崎大名誉教授の岡林隆敏さん（ともに工学博士）が手掛けた。長崎市には、石橋、鉄橋、鉄筋コンクリート橋の3種類の橋の「歴史的源流の地」とされているが、これらをはじめ長大な女神大橋（長崎市）、大島大橋（西海市）などのほか、歴史的な西海橋（佐世保市・西海市）、平戸大橋（平戸市）、諫早眼鏡橋（諫早市）など県内各地の60橋を掲載。橋の架設年、場所、工法、長さなどの基礎的な情報をはじめ、デザイン、色彩、風景との調和なども写真で見ることができるよう、県内を4つのエリアに分けて紹介されガイドブック的な要素も。B5判変形フルカラー96ページ 1389円＋税

イベント予告

開催名	代表者	日時	場所	連絡先 電話
長崎さるく		通年	長崎市内一円	長崎国際観光コンベンション協会 長崎さるく 受付 TEL：095-811-0369
2017 長崎ランタンフェスティバル		29.1.28(土)～2.11(土)	長崎市・ 新地中華街ほか会場	長崎ランタンフェスティバル実行委員会 事務局 長崎市観光推進課 TEL：095-829-1314
全日本綱引選手権大会		29.3.5(日) AM9:00	駒沢オリンピック公園総合運動場体育館（最寄駅 東急田園都市線 駒沢大学駅下車徒歩15分） ＝壱岐玄海酒造綱引チームが長崎県代表として23回連続出場＝	
2017 長崎帆船まつり		29.4.20(木)～4.24(月)	長崎港	長崎帆船まつり実行委員会 事務局 長崎市観光推進課 TEL：095-829-1314
長崎はたあげ大会 （長崎ビードロ会）		29.4.29(土) 昭和の日、 荒天中止の場合は5.7(日)	多摩川緑地区民広場 （最寄駅 京浜急行 六郷土手駅下車 徒歩10分）	
佐世保工業高校関東支部同窓会 総会・親睦会	萩尾正雄	29.5.28(日) 12:00 開会	新宿プリンスホテル （西武新宿駅）	谷本金二 TEL：090-7769-4958
猶興館東京同窓会総会・懇親会	大石郁夫	29.5.27(土)	第一ホテル	大石郁夫 TEL：03-3586-5211
平戸高校東京・首都圏同窓会	森和十郎	29.6.3(土)	日本出版クラブ会館	立石尚光 TEL：044-299-0308
壱岐高東京同窓会新年会	副島 清	29.2.11(土)	東京グランドホテル	副島 清 TEL：0493-59-8310
第26回壱岐高東京同窓会 総会・懇親会	副島 清	29.6.11(日)	東京グランドホテル	副島 清 TEL：0493-59-8310
東京北星会新人歓迎会	芦刈伸子	29.6.10(土)	未定	詳細は2月上旬に決定

長崎県アンテナショップ「日本橋 長崎館」 展示商品も増加！ご利用ください

平成28年3月7日にオープンした長崎県アンテナショップ「日本橋長崎館」は、まもなく1周年を迎えます。

オープン以来、長崎県出身の方々ははじめ多くの皆様にご来店いただき、誠にありがとうございます。

取扱商品はオープン当初に比べ増やしており、県産酒も焼酎、日本酒、ワイン、スパークリングワインなど、種類が増えました。また、地元で発行されている雑誌や長崎関連の書籍、旅行ガイドブックの図書コーナーも広くなり充実

しています。

イベントゾーンでは、地元市町や生産者による観光・物産PR等を開催し、訪れるたびに変化を感じていただけるような魅力ある店舗づくりに取り組んでいます。具体的にはこれまでに、地元市町や企業等によるイベントのほか、長崎県出身の佐田玲子さんのミニコンサート、県産酒での乾杯イベントなど、首都圏の皆様と長崎県を繋ぐ拠点として親しんでいただいている催しを開催しています。

軽飲食コーナーでは、ランチメニューとして提供している県内企業とコラボして作った長崎館オリジナルの角煮カレーは特に好評



(長崎県東京事務所)

観光物産センター 庄子しのぶ



をいただいております。

3月には開館1周年記念イベントも計画しておりますので皆様是非ご来店ください。イベントの内容はホームページなどでお知らせいたします。

これからも「長崎よかもんショップ・四谷」と共に、ご愛顧いただきますよう心からお願い申し上げます。



東京メトロ「日本橋」駅 87出口を出てすぐ



第9回関東西海市会総会・懇親会 盛会に開催

平成28年12月4日、第九回関東西海市会総会・懇親会を、KKRホテル東京で開催しました。

西海市田中隆一市長、佐嘉田敏雄市議会議長を始め、観光協会、地元企業の方々、関西会から平谷秀夫事務局長、また、公共関連事業体の皆様、長崎各ふるさと会のご来賓の方々、在京会員の方の参加をいただき、180名が集い、総会、懇親会を盛会に開催することができました。

総会では、岸川悟会長から意気込みを感じる挨拶、田中隆一市長から、市政報告、人口減少と向き合う切実な状況を受け、在京の協力を求め我がふるさとに思いを馳せる会員の方々もいました。また、関西会共々、会の成功と、さらなる飛躍に向け共に邁進される旨のご挨拶をいただきました。

また、昨年に引き続き、今年の総会にも、市の水産課、及び、四漁協のご協賛を得、西海市の新鮮な魚もふるまわれ、参加者の方から他に類を見ない会とのご評価をいただき、役員も喜んでおります。懇親会に移り、イベントでは、ウクレレシンガー足立ゆき子さんのライブショー、お楽しみ抽選会と、大いに食し、大いに飲み、楽しく、華やかなひとときを過ごす

ことができました。

まだ、会の設立も若く、いろいろな点、不手際な点も多々あったと思いますがお許しください。この会は「情報交換の場、語らいの場」として、皆様と一緒に育てていただく会と考えております。年に一度、この会に集い、地元へのご協力、また、地元からの協力、ひいては、長崎県の発展に少しでも貢献できますよう盛り上げていきたいと考えております、今後ともよろしくお願い致します。

会も終わりに近づき、当会副会長松尾剛様に閉会の挨拶をいただき、今年以上に盛り上げていくことへの期待と、お願いをもつてお開きとなりました。

最後に皆様と来年も再会出来ることを楽しみにしております。

(永田昌利)



ESSAY ①

富士に立つ
83歳の挑戦

会員 濱田 員嘉

2016年は「山の日」(8月11日)が制定された。ここ数年の富士登山で、2013年は富士山七合目で断念した。体力の限界であった。2014年はガイドのリーダーで富士宮五合目〜新七合目(宿泊)〜剣が峰登頂〜「頂上富士館」(宿泊)〜来光遥拝(下山開始)〜御殿場口登山道八合目〜宝永山〜宝永第1第2火口〜富士宮五合目へ! 81才で初登頂に成功した。2015年は日程と天候が合わず断念した。そこで2016年は「山の日」の制定を記念として83歳での挑戦を試みることにした。

登山バスに乗り換え富士宮口五合目に14時に到着し、約1時間の休憩の後、登山を開始し、宿泊先の新七合目「御来光山荘」には17時35分に到着した。

8月11日「山の日」、友人との約束事で、マイペースを維持する為に登山中は一緒に歩く必要は無く、落合う場所だけ決めて歩いた。九合目の「万年雪山荘」は、富士の万年雪を利用し、水に還元しての種類豊富な料理を提供して呉れる。九合目五勾に到着した頃から雲海の中に入り、此処で雨具を着用して驟雨と風を避けながら登攀を強行した。そこからは岩場が連なる急斜面をジグザグに登るため頂上が見えていながら、中々辿り着けなかった。やっと、富士



富士山頂

宮口の頂上に着いたのは、午後6時の少し前だった。一昨年と同じ「頂上富士館」に宿泊する事にした。「頂上富士館」では、午後7時になると全館消灯して出入口も閉鎖し、外出も夜空も楽しめず、翌朝の4時までは籠の鳥であった。8月12日、「成就ヶ岳」方面にご来光を遥拝に行った。昨夜は雨と風の音で天気を心配していたが、夜明けと共にそれも止み、眼下に雲海を眺められる快晴と成っていた。気温は5度程度と山頂としては暖かい朝だった。剣が峰の真下の石段には人が溢れて中々進まず、20分位経って、やっと剣が峰の標識に辿り着いた。

下山は、落合う場所を富士宮口五合目バスターミナルとして、互いのペースで下山開始した。富士宮口の下山口は岩場が多くて大変難儀した。途中で2回ほど転び左腕に掠り傷を負う破目になりながらの下山となった。バスとタクシーに乗り継いで富士宮市内の健康ランド「花の湯」に行き宿泊した。



富士登山道

今回の富士登山の反省と感想、①山は全て(当然だが)早い時刻のスタートが大事だ。

②登り始めにきつく感じた時「来なければ良かったかな?」と云う思いが ふと一瞬心を横切ったが、この時、感じたことは、「意欲」が行動の基だ、と云うこと。但しその「意欲」も身体が元気でないと気持ちだけでは続かないことを知らされた。

③登るのは暗くてもキャップライトで照らせれば良いが、下山は明るい中じやないと危険が多い。登山が好きな人はよく「富士は眺める山で登る山では無い」と云う人がいる。確かにお花畑は少ない山頂に行くに従って瓦礫の山で楽しみは少ないかも知れないが、「私にとっては登頂できた年は、その一年間は元気に過ごせる証としての富士登山!」と、位置付けている。今回の経験を糧にして富士登山に邁進する。

水とともに輝く



三輝工業株式会社

代表取締役 木戸紀雄

(長崎市出身)

URL <http://www.sanki-kogyo.com>本社
〒103-0004

佐倉工場

〒285-0812

千葉工場

〒289-1107

千葉事業所

〒290-0057

東京都中央区東日本橋 3-10-14 サンライズ橋 8F
☎03 (3667) 3041 [代] FAX03 (3667) 8268
E-mail:info@sanki-kogyo.com千葉県佐倉市六崎 560-3
☎043 (481) 2101 [代] FAX043 (481) 2102千葉県八街市八街は 1-59
☎043 (443) 9711 [代] FAX043 (443) 9884千葉県市原市五井金杉 1-7-2 相川ビル
☎043 (637) 3203 FAX043 (637) 3204

長崎西高在京同窓会総会・懇親会

長崎西高在京同窓会は平成28年10月22日、ホテルグランドパレスにおいて第43回総会、懇親会を開催しました。

今年は総会に先立ち、長崎マンドリンアンサンブルの皆さんによる演奏会を開催しました。30分という短い時間でしたが、アンコールには「長崎の鐘」の合唱で大いに盛り上がりました。

総会は、昨年同様長崎からは尾崎校長をお迎えし、また長崎、福岡、関西、東海の各地区同窓会、さらに長崎県人クラブをはじめ各団体、県内高校在京の同窓会から

もたくさんの来賓をお迎えすることができました。

今年は新たな試みとして「卓盛り」の配膳方法を選択しました。比較的狭い会場でお料理を取りに行く手間を省くことができ、好評だったように感じました。

総会後の懇親会では恒例となった長寿のお祝い、抽選会でお楽しみいただきました。また今年は例年以上に若い方の出席者が多く、今後の同窓会に明るい兆しが見えました。

最後になりましたが、この冬をもちまして私たち執行部は任期を

終えます。3年間の感謝の意と新しい執行部のお引き回しをお願いを表したいと思っています。

(長崎西高在京同窓会 会長 澤村 徹)



第65回東京海星会総会・懇親会が盛會

第65回東京海星会総会・懇親会が平成28年10月29日、午後5時から港区三田の笹川記念会館で行われました。

同会には、長崎から海星学園の坪光理事長、清水校長、同窓会担当の濱崎先生、特別ゲストとして野球部の加藤監督、同窓会からは伊集院会長、坂本副会長が参加され、在京の各学校の同窓会の代表や長崎市東京事務所の方なども含め全体で70有余名の参加で行われました。

江頭会長の挨拶の後、来賓紹介が行われ、来賓を代表して坪光海

星学園理事長が挨拶され、そのあと海星学園同窓会伊集院会長の音頭で乾杯が行われ、懇談に入りました。

懇談の後、特別ゲストの加藤監督に野球部の現状や来季に向けての抱負等を聞き、その後、清水校長に登壇願ひ、学校にまつわるクイズ大会や抽選会なども行われました。また、喜寿を迎えた方々を含め長老の方には今後も元気でこの会合に出てくださいとため、滋養強壮のお菓子であるカステラが贈られました。

会の最後は、元応援団長の指揮で海星校歌を斉唱し、新中3回生の山口義人氏の音頭で万歳三唱が行われ、会を終了しました。

(東京海星会会長 江頭康伸)

平成28年度 大村高校東京同窓会総会・懇親会

平素から大村高校東京同窓会の活動へのご支援とご協力をいただきありがとうございます。

大高東京同窓会は、平成28年10月15日(土)に、アルカディア市ヶ谷に於いて、33回目の総会・懇親会を、大村からの同窓会会長、大高校長を始め県人クラブ、在京の県下高校同窓会代表者をご来賓としてお迎えし、約110名の参加者で開催しました。

今年のトピックスとして、平成28年3月に高校を卒業し関東の大

学に入學した学生3名が参加したことです。現役学生の参加は久しぶりで、子供や孫世代の後輩を取り囲んでの会話が弾み、会場の雰囲気も例年より活気を感じられました。

これは、校長先生の発案で、卒業時に各地区へ進学する学生の中から代表幹事を指定し、同窓会とのパイプ役を持たせようと今年度から始めたものです。

代表幹事は、4月の準備段階から、同窓会の実行委員会に参加し、

その役割を十分に発揮してくれました。この流れが続くことで、若い同窓生の同窓会への関心が高まってくれることを期待したいと思っています。

懇親会は、校歌斉唱で開幕し、例年通り、グラスを片手に、同級生はもとより学年を超えての歓談の賑やかな話の輪がたくさんできていました。

イベントの、シャンソンライブ(16回高卒)、シンガーソングライターのカッルミさん(51回高卒)のミニライブでは、多才な同窓生の存在に感心し、聞き入っていました。



(大村高校東京同窓会 事務局長 籠原勇三)



トピックス

松浦高校同窓会関東支部の同窓会

平成28年11月19日(土)12時から虎ノ門のレストラン立山にて、平成28年度の総会&懇親会を開催しました。総会には、来賓として、渡邊校長、11回生の松本幸亀先生、平戸高校同窓会首都圏支部の森会長、猶興館高校東京同窓会松田副会長、東京・まつうら会里森会長・村田事務局長の出席を賜り、総勢37名と昨年を大幅に上回る参加者がありました。

懇親会では、地元産品を使ったおいしいレストラン立山の佐藤シェフ自慢の料理の数々、福引大会、

初参加者の自己紹介などで、大いに盛り上がりました。今回女性の参加が13名と全体の三分の一を占めました。新たな参加連絡も届いており、今後も女性の参加が増えそうである限りです。

また、昨年から大学生が参加していますが、今年は、日大4年の久枝君の出席があり、駅伝同様、後輩たちに、同窓会出席のタスキをつないでいくとの心強い決意表明がありました。さっそく、陸上部OBで箱根駅伝を目指す大学生



数名から、来年以降の出席の連絡をいただいております。さらに、交流の輪を広げていきたいと思えます。(会長 9回生 吉元利行)

東京対馬高等学校同窓会 平成28年度定期総会開く

東京対馬高等学校同窓会(高松繁治会長)は、平成28年10月16日(日)東京深川の清澄庭園内にあ

る大正記念館で、定期総会及び懇親会を開催した。

総会は、早田幹事長の司会で進行し、この一年間に亡くなられた会員に対して、黙祷を捧げた後、高松繁治会長が開会の挨拶を行い、早田幹事長の一年間の活動報告、内野会計幹事の決算報告、長郷監事の会計監査報告が了承され、改選期を迎えた高松繁治会長、柚原治美監事、長郷勉監事の

再任及び糸瀬敬一副幹事長、白石副幹事長の新任を決議した。そのあと来賓として出席した鶴田栄次校長、中庭清八郎同窓会会長よりご挨拶をいただき、鶴田校長は「今年の新入学生は200名を超え、県下の離島の高校としては最大」との報告に会場は拍手が沸き上がった。

懇親会では、糸瀬敬一副幹事長の司会で進行し、来賓として出席された浦田一朗前同窓会会長より交代挨拶と対馬の近況報告があった。また公益財団法人モラロジー研究所塾頭宗中正様より「毎年小茂田浜神社祭へ参加し、歴史の繋がりをひしひしと感じている。本日は父の作詞した対馬高等学校校歌を聞きたく参加した」との挨拶を受け、乾杯を行って懇親会の幕開けとなった。懇親会では歓談の他、高松会長手製の真珠贈呈の「じやんけん大会」、母校のクラブ活動助成金として「三十一万四千円」の贈呈も行い、雰囲気盛り上げた。最後に、本石憲晟幹事のタクトで校歌斉唱を行い、参加者は肩を組み合い、往時を懐かしみながら力一杯歌い上げた。締めくく



つた。(会計監事 柚原治美)

盛大に東京沓岐雪州会総会 今秋は100周年でイベント計画

東京沓岐雪州会の平成28年度定時総会及び懇親会が、平成28年10月23日、東京千代田区の霞が関ビル35階の東海大学校友会館で、沓岐市から15人の来賓を始め長崎県人クラブや長崎県人会の幹部の方々もご出席いただき、総勢210人により盛大に開催されました。

ご来賓の一人として、元内閣官房副長官で小泉首相ら歴代5人の総理大臣に仕えた古川貞二郎氏(元厚生省事務次官、長崎県庁総務部勤務時代は沓岐・対馬地域も担当)にもご出席いただきました。古川氏からは、沓岐は子守歌の発祥地や、沓岐には「日本の原形」があるなどと感銘を受けるご挨拶をいただきました。



挨拶する古川貞二郎元官房副長官

東京沓岐雪州会幹事 白石光男

東京・平戸北松会総会賑わう

平成28年10月15日に開催された恒例の「東京・平戸北松会総会」に、今回初めて出席させていただきました。猶興館や平戸高校の東京同窓会総会などでお会いした皆様と再会することができたほか、初めてお会いする会員の皆様や自治体、銀行、新聞社等の東京事務所の方など、多くの方と懇親を深めることができ、楽しいひと時を過ごさせていただきました。

特に懇親会では、日本体育大学相撲部の「エッサッサ」や有名な隊による「よさこいの演舞」で盛り上げていただいた後、町村對抗歌合戦に地元平戸代表として参加させていただきました。残念ながら「優勝」は逃したものの、出席者の方からは暖かい拍手をいただきなど、心に残るひと時となりました。

会員の皆様方の「ふるさと平戸」に対する強い「郷土愛」を感じながら、今後も皆様が平戸を誇りとして行くことができますよう、日々の行政運営に尽力していきたくと改めて感じた1日でした。

(平戸市財務部長 吉住龍三)

第44回長崎東高在京同窓会総会も

平成28年10月15日(土)16:00から前年と同じ九段下のホテルグランドパレスにおいて第44回長崎東高在京同窓会総会を開催しました。当日はふるさと長崎から平山副校長先生以下のご来賓他、200名を超す同窓生を集めて盛大に行われました。

恒例のイベントは、東龍クラブによる本命の「龍踊り」、前年大好評だった全員参加の「フォークダンス」、そして東高OB母娘によるバイオリンとピアノの共演が会を大いに盛り上げました。

今回一番の目玉はこの日のために準備した長崎スイーツの試食会です。各テーブルには珍しい長崎のお菓子が盛り沢山に置かれ、今回の当番幹事の子供さん達が可愛らしい売り子に変装して会場内を飛び跳ねていました。おかげで会がとてもアットホームな雰囲気になりました。

また今回も20代の学生世代の若い回生も多く参加し、とても華やいだ総会になりました。

(北澤道也)



「長崎スイーツの試食会」の様子



平成28年度長崎県人会総会に300人超

平成28年12月7日(水)、ホテルグランドパレス(千代田区飯田橋)において、平成28年度長崎県人会総会が開催され、300名を超える参加者の皆様と長崎県の話で交流を深めました。

山内県人会会長の挨拶に続き、長崎県知事の代理として出席した長崎県産業労働部の宇戸次長から、全国健康福祉祭「ねんりんピック長崎2016」開催の報告、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の登録実現に向けた進捗状況、アンテナショップ「日本橋長崎館」の利用のお願い、国内最大級の観光キャンペーンである「長崎デスティネーションキャンペーン」のPRなどについての報告がありました。

懇親会では、長崎市出身の歌手「上奥まいこ」さんによるミニコンサートも行われ大いに盛り上がりしました。

また、福引き抽選会には、県市町をはじめ、長崎県ゆかりの企業などから数多くの景品や特産品をご提供いただき、大変にぎやかな会となりました。

(長崎県東京事務所 福島浩史)



挨拶する山内会長

会員デーの案内

会員の親睦と情報交換の場のひとつとして会員デーを設けています。ご案内します。

日時：平成29年2月 8日(水) 午後6時～8時頃
平成29年3月 8日(水) 午後6時～8時頃
平成29年4月 12日(水) 午後6時～8時頃
平成29年5月 10日(水) 午後6時～8時頃
平成29年6月 14日(水) 午後6時～8時頃
平成29年7月 12日(水) 午後6時～8時頃

毎月(8月および休日の日を除く) 第2水曜日 午後6時～8時頃
場所：当クラブ 1階 会議室



トピックス



平成28年7月27日(水)、18時30分より浜松町貿易センタービルの東京會館において、納涼親睦会を開催しました。68名の方々が参加され、納涼の夕べを楽しみました。

平成28年度納涼親睦会

今年のゲストは長崎市出身で、スペイン舞踊家の淡路たみさんでした。ギター伴奏、カンテ(歌)も入って、フラメンコライブの様相になりました。(内堀勝之)



長崎工業高



上対馬高

(内堀勝之)

在京長崎県下高校同窓会代表者の集い盛況

第18回在京長崎県下高校同窓会の集いを平成28年11月22日に、港区・三田の笹川記念會館で開催しました。

26校の代表者の方々に加え、長崎県、佐世保市、諫早市、大村市の自治体からも出席され、総勢95名の会合となり、交流が深められました。参加校による母校情報や同窓会の活動状況が報告されましたが、時間が足りないようでした。

参加校は次のとおりでした。

長崎東、長崎西、長崎南、長崎北、長崎工、長崎商、佐世保南、佐世保北、佐世保商、島原高、諫早高、諫早商、大村高、五島高、猶興館高、平戸高、松浦高、対馬高、上対馬高、壱岐高、壱岐商高、海星高、瓊浦高、西海学園、長崎南山、青雲高(順不同)

非鉄金属用フラックスのトップメーカー



株式会社 **フアウンテック**

代表取締役 **万 谷 正**

〒100-0005 東京都千代田区丸の内三丁目3番1号 新東京ビル

TEL **03-5218-8291** FAX **03-3214-8091**

URL <http://www.fountec.co.jp> E-Mail fountec@fountec.co.jp

営業所： 東 京 東京都千代田区丸の内三丁目3番1号 新東京ビル
名古屋 名古屋市中区錦1-20-19 名神ビル7F
大 阪 大阪市淀川区西中島5-2-5 中島第2ビル408
九 州 福岡市博多区博多駅前2-17-15 NPCビル3F

技術部： 名古屋市中区錦1-20-19 名神ビル7F

工 場： 奈 良 奈良県御所市室493
栃 木 栃木県鹿沼市茂呂778-1

海外連絡事務所：中国(上海、青島)、タイ(バンコク)、
ベトナム(ハノイ・ホーチミン)

字句の訂正

51号の字句を訂正してお詫びいたします。
13頁 3段目 8行目

正
で106年の歴史となる。東京対馬会も同
介
誤
で160年の歴史となる。東京対馬会も同



◇菅生 泰亮さん

平成28年8月14日に長崎新聞社取締役東京支社長菅生泰亮さんが亡くなりました。通勤中に倒れて20日間以上意識不明が続いていましたが、そのまま亡くなりました。そのままだけに亡くなられたそうです。当クラブの理事でもあります。当クラブの運営にも積極的に協力されました。58歳でした。心からご冥福をお祈り申し上げます。合掌



ESSAY ②

高尾山散策

事務局 大崎 京子

平成28年10月1日、今にも泣きだしそうな空模様の中、ミシュランガイドで富士山と共に三ツ星の認定を受けた「高尾山」へ登りました。いくつもある登山コースの中から選んだのは、溪流沿いを行く変化に富んだ6号路。苔むした太い木々や薄暗い森は映画「もののけ姫」に出てくる神秘的な森を彷彿とさせ、せせらぎにも心癒されます。

高尾山は常緑広葉樹と落葉広葉樹が一所に生育しているという珍しい山で1598種の植物が自生

しているようですが、これはイギリス全土でも1859種の植物しか生育していないことを考えるとこの狭い山にかなり沢山の植物が生育していることが分かります。

都会から1時間でこのような大自然に触れられる高尾山はミシュランガイド三ツ星も納得です。おかげで多くの外人さんとすれ違いました。6号路の締めくくりは丸太で押さえた泥の階段です。

250段はかなりきつい登りでしたが、100分の道のりは雨に見舞われることもなく大なる達成感を得られました。

頂上からみえるはずの富士山はとうとう顔をだしてはくれませんでした。雲を頂く山並みは雄大で眼下に見える街のあたりを包み込んでいました。

下りは薬王院というお寺を参拝、実は神仏習合状態がつづいており、釣鐘だけでなく鳥居までありました。いたるところに飾られた天狗は、「天狗様」と呼ばれる道の神様だそう…。合格祈願のお社には、蛸の置物を持ち上げてそつと置きなおすと合格出来るという「置くとおパス」(Octopus)などという駄洒落の好きな神様もいま

した。

途中の展望台にあるビアガーデン「ビアマウント」は天候不順にもかかわらず650席がほぼ満席で大賑わい、30種類以上あるバイキング料理やデザートに舌鼓を打ち、飲み放題のドリンクにお腹の皮もはち切れそうになり大満足。幸せな一日を過ごせました。

帰りはケーブルカーで下ることに。31度という日本一急勾配のケーブルカー、下り始めると真つ暗闇の中、まるで奈落の底に落ちて行かんばかりのその勾配のきつさに思わず「ウオーッ！」という驚きの声が沸き起こりました。

年間300万人の人が訪れる登山者数日本一の高尾山、12月22日にはダイヤモンド富士も見えるとのこと。薬王院ではもみじが色づき始めています。紅葉の高尾山も見たくなりました。

高尾山口駅前



第4回女子会開催

平成28年12月21日第4回女子会を開きました。暮れが押し迫っていたにもかかわらず16名という沢山の参加があり、今回も大いに盛り上がりしました。

6時から1時間だけ、上瀧緑(かみたきみどり)さんより、今、流行りの「恋ダンス」を教えて頂きました。アップテンポでノリの良いダンスに皆さん四苦八苦でしたがさわりの部分を何とか踊ることが出来、とても楽しかったです。

7時から4階のお部屋での宴会です。ウイスキーの差し入れに伴い丸い氷を準備しました。サルヴァトーレの本格的な料理にシャンパンやワインがマッチして食が進み、なんとペのラーメンまで頼むことに。おしゃべりにも花が咲き、楽しさと美味しさで大満足の楽しい時を過ごせました。

今回は、女子会で川越市散策を企画いたします。美味しい料理と川越市を堪能しようという企画です。当クラブ会員で川越市議でもある関口勇さんが案内してくださるとのこと。4月頃を予定しております。女性会員だけでなく、当クラブの会員はどなたでも大歓迎です。ご家族様も一緒にどうぞ。日程が決まり次第お知らせいたしますので、FAX(またはメール)にて参加のお申し込みをお願い致します。大勢の参加を心よりお待ちしております。

(大崎京子)



新春のお慶びを申し上げます



V・ファーレン長崎 Jリーグ5年目開幕！

長崎県全県をホームタウンとするプロサッカークラブ、V・ファーレン長崎の2017シーズンがいよいよ開幕いたします。J2リーグ参入5年目となるシーズンは、昨季15位に終わった雪辱を果たすべく、新たに16名の選手が加入。就任5年目を迎える長崎県出身の高木琢也監督の下、悲願の「J1昇格」を目指します。

2017明治安田生命J2リーグは、2月26日(日)にホーム・トランスコスモススタジアム長崎(長崎県立総合運動公園陸上競技場)にて開幕予定。「ナガサキをひとつに！」するため全力で戦う選手たちへ、ぜひスタジアムにて熱いご声援をよろしくお願いします！

V・ファーレン長崎のチケット情報、スタジアムアクセスなどの各種情報は左記URLをご参照ください。<http://www.v-varen.com/>

2017シーズンもクラブへのご支援・ご声援をよろしくお願いいたします！

V・ファーレン長崎 GM室 広報 新ヶ江周二郎



モンドセレクション 15年連続受賞蔵

麦焼酎発祥の地「壱岐」



まつながやすざえもんおう
松永安左エ門翁

720 ml (43度)



壱岐オールド

720 ml (25度)



壱岐スーパーゴールド22

720 ml (22度)

むぎ焼酎 壱岐

玄海酒造株式会社

取締役会長 山内 賢明

取締役社長 山内 昭人

取締役副社長 山内 博達

〒811-5125 長崎県壱岐市郷ノ浦町志原西触550-1 TEL.0920-47-0160 FAX.0920-47-0211

www.mugishochu-iki.com

本格麦焼酎

◎お酒は20歳になってから。◎お酒は適量を
◎妊娠中・授乳期の飲酒には気をつけましょう

壱岐麦焼酎

かめはだみ 山の守

有限会社山の守酒造場



本格麦焼酎
1800 ml (25度)

◎お酒は20歳になってから。

取締役会長 山内 賢明

取締役社長 山内 昭人

取締役副社長 山内 博達

〒811-5125 長崎県壱岐市郷ノ浦町志原西触85 TEL.0920-47-0301 FAX.0920-47-0384